

赤いいらかの波が海岸線に連なる町並み—江津市黒松町

京都駅からJR山陰本線に乗り、赤瓦の町並みが見えてくると、山陰に入ったなと感じます。石州赤瓦がつくる景観は、山陰を代表する文化で、文句なく価値のあるものだと思います。

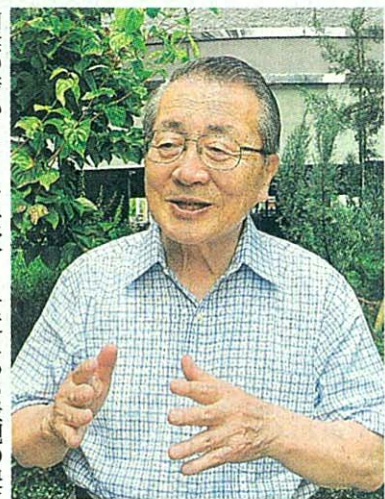
建築や住宅に関する研究を長年してきましたが、瓦屋根がつくる景観には、その土地の気候風土が反映され、それぞれ特徴があります。

例えば、台風が多く通過する地域では、飛ばさ

山陰の暗いイメージを吹き飛ばす明るい色で、山は、分りにくいもので

京都大学名誉教授、工学博士

巽 和夫さん



山陰を代表する景観美 文句なく価値あるもの

れないよう重い瓦を使い、風を逃がすような独特の葺（ふ）き方をしています。その地域に合うようにできているので

並みの緑色にもよく映えます。しかし、こうした取り組みがなければ、景観は崩れてしまい、他のものが交ざれば、町並みや文化の特徴がなくなってしまう。赤瓦の住宅

石州瓦は、冬は寒く、雪が降る山陰で生まれ

した。この過酷な環境に耐えるために、緻密で耐久性が高く、品質の良い瓦ができました。特産の来待石から作る釉薬（ゆうやく）による赤色は、

地域住宅計画「HOPE計画」を策定し、赤瓦を景観づくりの基本に据えました。そして、公共施設への利用や、住宅の新築や建て替えで赤瓦を使用すると、助成金を受けられる制度をつくりました。

赤瓦景観が全国的に見ても貴重で、価値があるものだと認識し、歴史と伝統を守り、誇ってほしいと思います。